

北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価検証シート

基本目標 1

北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる

…P1～P24

基本目標 2

北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

…P25～P34

基本目標 3

子どもを生み、育てたいという希望をかなえる

…P35～P47

基本目標 4

住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る

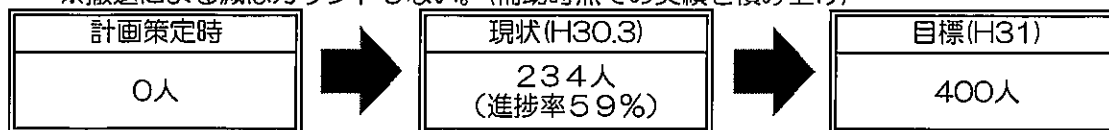
…P48～P56

基本目標1	北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる ～ 安定した雇用を創出する ～
-------	--

数値目標：新規雇用増加数

※新函館北斗駅前での企業立地による雇用増加数及び駅前以外での企業立地による雇用増加数。（通年雇用）

※撤退による減はカウントしない。（補助時点での実績を積み上げ）



施策(1)	新函館北斗駅及び周辺における雇用の創出
<ul style="list-style-type: none"> 北海道新幹線開業による地域経済の活性化に向け、新函館北斗駅前街区への企業立地による雇用の創出と新函館北斗駅及び周辺地区における集客力を高める施策を展開。 	

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> 企業立地数及び雇用増加数は伸びており、一定の効果は認められるが、企業立地数の進捗率としては遅れている状況にある。
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・企業立地数（物販店舗を含む）	50社	H29：31社	62%
・雇用増加数	300名	H29：223名	74%

① 新函館北斗駅前への企業立地の促進

A 新駅周辺地区企業立地補助金【水産商工労働課】		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 新駅周辺地区の事業活動及び交流機能を促進する都市機能の創出、民間の事業活動の活発化及び雇用機会の拡大のため立地した企業に対し、ホテル事業などは、建築投資額、設備取得額等の15%、その他の事業は建築投資額、設備取得額等の10%を助成。 		
事業費 (円)	H29決算額 321,002,000	H30予算額 25,713,000	H31 予算要求見込額 2,204,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 駅前の街区にレンタカー会社8社、飲食店2社、ホテル1社が立地され、観光交流センター及び観光交流センター別館内の物販店と合わせ、これまで223名の通年雇用、30名の季節雇用の増加。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 郵便局が移転し、さらに、ホテルの建設が予定されているが、市有地で3区画、民有地で8区画の活用が未定となっていることから、今後も継続して企業誘致を推進。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ホテル建設による補助が予定されている。 		

B 企業立地説明会等への参加 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	・企業を対象とした立地セミナーやフォーラム等に参加し、立地環境や制度等のPRを実施。		
事業費 (円)	H29決算額 604,940	H30予算額 1,003,000	H31予算要求見込額 1,003,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・首都圏で4回、札幌市で3回、フォーラムへの参加や企業訪問を行い、PRや企業誘致を実施。 ・不動産業・物品賃貸業1社、宿泊業・飲食サービス業6社、卸売業・小売業1社、運輸業・郵便業1社、情報通信業1社、その他88社の計101社と接触し、5社に対して、継続して情報提供。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・フォーラムや企業立地セミナー等へ参加して立地環境や補助制度等のPRを実施するほか、問い合わせ等のあった企業を個別に訪問し、継続して企業誘致を推進しており、現在、8社に対して土地の活用状況等について情報提供。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・フォーラムや企業立地セミナー等へ参加して立地環境や補助制度等のPRを実施するほか、問い合わせ等のあった企業を個別に訪問し、企業誘致を推進。		

C 市長のトップセールスによる企業誘致の実施 [新規/水産商工労働課]		H29新規	既存事業
事業概要	・新駅周辺地区への立地に意欲のある企業に対して、市長によるトップセールスを実施し、企業誘致の推進を図る。		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・立地を検討している企業を訪問してトップセールスを実施したことや、関係団体へ訪問して企業誘致の協力を要請したことにより、新たなホテル建設の立地計画が具体化するとともに、担当部署での企業訪問等が円滑に行うことができた。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・立地を検討している企業を中心にトップセールスを実施するとともに、関係団体へ訪問して企業誘致の協力を要請し、担当部署での企業訪問等が円滑に遂行できるように取り組む。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・事業の継続実施。		

② 観光交流センターの開設

A 観光交流センター指定管理負担金 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新函館北斗駅及び周辺地区の利便性の向上、地域の活性化を図るため、観光及び交通に関する地域情報の提供、地場産品の展示、販売等を行う観光案内所、アンテナショップ等の機能を有する観光交流センターを設置し、指定管理により運営。 		
事業費 (円)	H29決算額 18,668,000	H30予算額 16,686,000	H31予算要求見込額 16,686,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業1年目の平成28年度より利用者は減少しているが、観光案内所では、62,147人(H28:113,450人)が利用し、北斗市のPR及び市内への誘客を推進。 ・また、アンテナショップでは、取り扱い商品(約700品目)の約3割に当たる地場産品を扱うなど地場産品の販売とPRを行い、76,065人(H28:146,567人)が利用し、観光客等の利便性の向上及び地域の活性化につながった。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の適正な管理運営に努める。 ・観光案内所やアンテナショップ等の利用者が減少傾向にあり、観光交流センター別館も合わせて、指定管理者と一体となって取り組む。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を活用し、適正な施設運営及び魅力ある施設づくりに継続して取り組む。 		

③ 新函館北斗駅周辺における集客力の向上

A 新函館北斗駅前活性化事業 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センター別館に隣接するイベント広場を整備し、新駅周辺地区の活性化及び賑わいを創出する。 		
事業費 (円)	H29決算額 17,992,800	H30予算額 3,643,000	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・新駅周辺の魅力向上を目指し、関係事業者との意見交換を実施。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・新函館北斗駅前の賑わいを創出するため、新函館北斗駅前イベント広場を会場として、農産物や海産物等の販売を行う土曜市を4月から10月までの期間で月1回実施。 ・観光交流センター別館の出店者によるイベントや民間団体によるイベントが実施されており、新函館北斗駅前の賑わいを創出。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・関係する事業者や団体が主体的に取り組むイベント等が定着するよう活用の促進を図る。 		

B 立体駐車場管理事業〔水産商工労働課・都市住宅課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新函館北斗駅及び周辺地区の集客力を高めるため、当分の間、立体駐車場使用料の無料化を実施。 ・立体駐車場にエレベーターを設置するほか、隣接する平面駐車場を拡幅して、利用者の利便性向上を図る。 		
事業費 (円)	H29決算額 41,323,400	H30予算額 23,905,000	H31予算要求見込額 23,905,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の除雪や繁忙期の警備員配置などを実施しているが、年間188,628台の利用があり、新幹線利用者や観光交流センター、観光交流センター別館等の利用者の利便性向上が図られた。 ・立体駐車場にエレベーターが設置され、立体駐車場の利用者の利便性向上が期待される。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・新函館北斗駅及び周辺地区の集客力を高めるため、立体駐車場使用料を1時間まで無料、新幹線利用者は500円の割引を実施。 ・立体駐車場の有料化及び平面駐車場（無料）の拡幅により、7月末までの利用台数42,199台で平成29年比48%の利用率推移しているが、日中や繁忙期の警備員配置により、利用者の利便性は維持。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・利用台数が減少したことにより、屋上階への駐車が少ない状況となっていることから、冬期間の除雪体制について検討。 		

C 新函館北斗駅前冬季イベント事業（観光協会補助金）〔観光課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新函館北斗駅周辺の活性化と閑散期の集客底上げとして、観光交流センター別館各テナントや関係団体等と連携を図り、観光交流センターのPR及び駅周辺の賑わい創出を図るイベント開催を支援する。 		
事業費 (円)	H29決算額 917,020	H30予算額 1,000,000	H31予算要求見込額 1,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センター別館各テナントや関係団体等と連携を図り、2月17日～18日の2日間、観光交流センター本館・別館及びJR新函館北斗駅を活用した子ども向けのイベントを展開。 ・2日間で1,800人の来場があり、冬季における駅周辺の賑わい創出及び別館テナントへの誘客促進が図られた。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センター別館各テナントやJR北海道、駅周辺事業者等と連携したイベントを開催するとともに、春以降の北斗桜回廊、きじひき高原への誘客促進を図るためプロモーションを実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の入込実績を踏まえたうえで、事業の見直しを検討。 ・近隣市町や交通事業者等との広域連携により、南北海道エリアの魅力を集約し、春以降の誘客促進に繋がるプロモーションの実施を検討。 		

D プロジェクションライティング運用業務〔観光課〕		継続	既存事業
事業概要	・新函館北斗駅周辺の賑わいの創出を図るため、駅前西側公園に設置したプロジェクションライティング機器を活用し、観光PR映像の投影やライトアップにより魅力的な空間演出を行う。		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・駅利用者や駅周辺の滞在客等に対し、プロジェクションライティング機器によるシンボルツリー及び花壇のライトアップ、観光PR映像の投影により観光コンテンツを発信するとともに、駅前西側公園に魅力的な光の空間を演出した。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・観光PR映像の投影やシンボルツリー等のライトアップを実施し、駅前西側公園に魅力的な光の空間を演出。 ・観光PR映像の拡充、魅力アップを図る。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・継続して観光PR映像の拡充を図るとともに、南北海道エリアの玄関口として、近隣市町の観光PR映像を投影することで、映像コンテンツの魅力度を高め、域内への誘客及び周遊促進に繋げる。		

施策②	北海道新幹線の拠点機能を活かした観光振興
・北海道新幹線の拠点機能や自然資源を活かした食と観光の振興を図るとともに、文化・スポーツ施設を活用した合宿誘致などにより交流人口を拡大する施策を展開。	

【施策の評価】

・観光入込客数は、開業直後の年度に比べ減少傾向となっており、持続的に増加させるための事業や方策の検討が必要である。

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・観光入込客数	1,500,000人	H29: 997,100人	5%

※計画策定時(H26)971,019人を0%、指標値を100%とした場合の、直近の状況を割合で示したもの。

① 新函館北斗駅と自然資源を活かした観光振興

A 観光プロモーション事業〔観光課〕		継続	既存事業
事業概要	・北海道新幹線を利用した誘客促進をめざし、首都圏及び東北地方をターゲットエリアとしイベント出展等により、市内観光資源のPRや特産品販売等を通じ、本市の魅力を広く宣伝周知するほか、JR駅等で開催される観光キャンペーンへの参加、旅行エージェントへの働きかけ等、観光プロモーション活動を展開する。		
事業費 (円)	H29決算額 2,128,085	H30予算額 2,475,000	H31予算要求見込額 2,475,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・東京都北区の赤羽馬鹿祭り、豊島カップまつり、JR大宮駅・仙台駅の観光キャンペーン、青森市や仙台市、札幌市でのイベントへ参加。 ・市内観光資源のPRや特産品販売を実施したことで、本市の魅力を発信するとともに、北海道新幹線利用による誘客促進を呼び掛けるプロモーション活動を展開。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・北海道新幹線を利用した誘客促進をめざし、ターゲットを生活圏、文化圏としても近い存在にある東北方面を中心として、イベントへの出展による市内観光資源のPRや特産品販売等を通じた宣伝誘致活動、旅行会社への働きかけなど、観光プロモーション活動を展開。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・北海道・東北新幹線停車駅がある都市への宣伝誘致活動を展開することで、さらなる誘客促進を図る。 ・重点ターゲットを生活圏、文化圏としても近い存在にある東北方面に絞りながらも、北海道新幹線延伸を見据え、札幌での宣伝誘致活動も視野に誘客促進を図る。		

B 観光PR事業（観光協会補助金）〔観光課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内への誘客促進のため、観光協会が市とタイアップして実施する各種観光プロモーション事業に対する支援。 ・事業内容は、各種プロモーション活動で使用するリーフレットやノベルティー等の作成、出展ブース費用、プロモーション参加に伴う旅費等。 		
事業費 (円)	H29決算額 2,583,406	H30予算額 2,633,000	H31予算要求見込額 2,633,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに新函館北斗駅周辺MAPを作成し、新函館北斗駅やきじひき高原で配布することで市内への周遊を促進。 ・市と連携し各種観光プロモーションに参加し、市内観光資源のPRや特産品販売を実施したことで、本市の魅力を発信するとともに、北海道新幹線利用による誘客促進を呼び掛けるプロモーション活動を展開。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・市と連携し各種観光プロモーションに参加し、市内観光資源のPRや特産品販売を実施したことで、本市の魅力を発信するとともに、北海道新幹線利用による誘客促進を呼び掛けるプロモーション活動を展開。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・市と連携し各種観光プロモーションに参加し、市内観光資源のPRや特産品販売を実施したことで、本市の魅力を発信するとともに、北海道新幹線利用による誘客促進を呼び掛けるプロモーション活動を展開。 ・着地型観光の担い手として受け皿環境の拡充を図るため、市との役割分担から、本事業の縮小を検討。 		

C 食の宝庫みなみ北海道・北東北食旅フェスタ事業（負担金）〔観光課〕		H29新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線開業効果の継続・拡大と、南北海道及び北東北圏域への誘客促進、圏域内の周遊促進を目的に、広域連携により「食の魅力」と「冬季観光の魅力」をPRするイベントを開催。 ・関係自治体等で構成する実行委員会が主催し、11月18日、19日の2日間、仙台市での開催。 		
事業費 (円)	H29決算額 1,500,000	H30予算額 1,500,000	H31予算要求見込額 1,500,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・本市のほか、函館市や八戸市など、南北海道と北東北の自治体、メディア等の広域連携により、11月18日～19日の2日間、飲食ブースと観光PRブースを設置し、大型プロモーションを展開。 ・2日間で32,000人の来場があり、広域連携により圏域内の魅力発信が図られた。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・本市のほか、函館市や八戸市など、南北海道と北東北の自治体、メディア等の広域連携により、11月17日～18日の2日間、飲食ブースと観光PRブースを設置し、大型プロモーションを展開するほか、仙台市の旅行エージェントとの商談会を通じて、旅行商品造成の働きかけを実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・本市のほか、函館市や八戸市など、南北海道と北東北の自治体、メディア等の広域連携による観光プロモーションは、スケールメリットから集客力が高く、宣伝効果も高いと考えており、継続して取り組む方針。 		

D 映画、テレビ等のロケ撮影の誘致 [観光課]		H29新規	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線をはじめ、陸、海、空の交通アクセスの利便性を生かし、豊かな自然環境と四季折々の風景など、本市を舞台とする映像作品により、魅力発信と誘客促進を図るとともに、市内民間宿泊施設の利用を推進することにより、地域経済の活性化を図る。 ・誘致活動に当たっての支援内容は、市内民間宿泊施設を利用した際の宿泊費助成（5人以上の2泊3日以上）の宿泊利用で、1泊当たり1人2千円）、ロケ候補地の情報提供、公共施設使用に関する手続きの省力化、エキストラ募集の協力、宿泊施設や関連事業者の紹介など。 		
事業費	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
(円)	434,000	1,000,000	1,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・市が支援したものでは、テレビ番組3本、CM5本のロケ撮影があり、うちCM1本は映画撮影等誘致促進補助金を活用し、市内ホテル・旅館に宿泊（延べ宿泊数は217泊）。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・7月末現在でのロケ撮影は、テレビ番組1本、雑誌撮影2本、映画1本となっており、うち映画1本が映画撮影等誘致促進補助金を活用する予定。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・映画撮影等誘致促進補助金は、運用実績を踏まえ、制度の見直しを検討。 ・ロケ撮影事業者に対する支援として、ロケ候補地の情報提供、公共施設使用に関する手続きの省力化、エキストラ募集の協力、宿泊施設や関連事業者の紹介などは継続して実施。 		

E 観光交流センター別館指定管理負担金 [水産商工労働課]		H29新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新函館北斗駅及び周辺地区の利便性の向上、地域の活性化を図るため、お土産や弁当などの販売や飲食物を提供するテナントが入居する観光交流センター別館を設置し、指定管理により運営。 		
事業費	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
(円)	3,870,000	4,148,000	4,148,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・入居している18店舗全体で延べ292,588人が利用し、利便性の向上及び地域の活性化につながった。 ・18店舗中、1店舗が撤退し、隣接する店舗が拡張する形で17店舗での運営。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・4店舗が撤退し、13店舗での運営となっていることから、利用料等の収入減が見込まれる。 ・4店舗が撤退したことにより売り場面積は14%減少したが、利用者は10%減で推移。 ・空き区画のテナント募集を継続して行い、早期の入居を目指す。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・空き区画のテナント募集を継続して行い、早期の入居を目指すとともに、有効活用を検討。 		

② 文化・スポーツ施設を活用した交流人口の拡大

A スポーツ合宿推進事業〔観光課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線をはじめ、陸、海、空の交通アクセスの利便性や、道内において冬は温暖で積雪が少なく、夏は冷涼な立地特性を生かすとともに、市内スポーツ施設の有効活用と民間宿泊施設の利用を推進することにより、滞在型スポーツ振興による交流人口の拡大と、地域経済の活性化を図る。 ・市民のスポーツ振興面でも、合宿に訪れるトップアスリートや強豪チームとの交流を通じ、技術やモチベーションの向上等が期待できる。 ・誘致活動に当たっての支援内容は、市内民間宿泊施設を利用した際の宿泊費助成（5人以上の2泊3日以上）の宿泊利用で、1泊当たり1人2千円）、スポーツ施設の無償使用、宿泊施設や関連事業者の紹介など。 		
事業費	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
(円)	10,712,972	10,806,000	10,806,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・H29実績では、56団体、1,379人の入込みで、延べ宿泊数は4,484泊となった。平成28年比で11団体、332人、818泊の増であった。 ・受入団体は小学校から大学までの学校、スポーツ団体が多く、受入れ時期は春休み、夏休みに集中する傾向がある。また、北海道新幹線開業の効果として青森県からの受入が増加した。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・7月末現在での入込み状況は、平成29年と同程度で、好調に推移。 ・冬期間の室内競技、長期滞在が見込める実業団の入込み増をめざし、誘致活動を展開。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向		
	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーター確保に努めるとともに、H32春供用開始に向けサッカー、ラグビー競技の入込み確保に向け、誘致活動を展開する。 ・市内スポーツ施設の不足を補うとともに、団体競技における練習試合の確保のため、近隣市町との連携強化を図る。 		

③ 各種イベントの充実

A スタンプ・レシートラリー事業〔観光課〕		H29新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「北斗のおすすめドライブコース」を巡り、ルート上の7箇所スタンプの内、3箇所のスタンプを集めるとともに、市内飲食店で合計1,000円以上飲食したレシートを貼り付け応募した方を対象に、市の特産品を抽選でプレゼントすることによって、市内周遊観光の促進及び観光消費の喚起を図る。 		
事業費	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
(円)	439,560	1,161,000	1,161,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・7月1日～9月30日までの3か月間、市内7箇所にスタンプを設置し、北斗市観光交流センター20%、パノラマ展望台17%、あぐりへい屋16%、トラピスト修道院15%、茂辺地北斗星広場13%、匠の森公園10%、上磯駅9%の訪問があり、域内の周遊が図られた。 ・応募があった108人の内、道外客は30人（28%）、道南以外16人（15%）と全体の43%を占めた。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・7月7日～11月4日までの4か月間と期間を延ばし、また、パンフレットを駅前のレンタカーの事業所に備え付けるなどして、本事業の参加者の拡大を図っている。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向		
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地と市内飲食店と組み合わせた本事業により、さらなる市内周遊観光の促進及び観光消費の喚起を図る。 		

B 着地型観光促進事業（観光協会補助金）〔観光課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の収穫や地引網での漁獲など、本市の基幹産業における「体験型観光」並びに市内観光地を結んだ「周遊観光」のルート構築を進め、本市の食資源や自然資源などを生かした受入れメニューの拡充、環境づくりを支援。 		
事業費 (円)	H29決算額 217,812	H30予算額 1,809,000	H31予算要求見込額 1,809,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 地元農家と連携した「夏野菜収穫体験」や自然資源を生かした「ノルディックウォーク」などの体験観光事業を造成。 市内観光農場や北斗フィッシャリーへの誘客を図るため、造成した体験観光事業と組み合わせ、滞在型・周遊型観光の商品化に向けた招聘旅行を実施。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 新たな体験メニューとして、きじひき高原での「星空・日の出鑑賞」や、匠の森公園での「お手軽BBQ」を施行的に実施。 地元農家と連携した「夏野菜収穫体験」、自然資源を生かした「ノルディックウォーク」を継続実施。 フォトコンテストの通年実施を通じ、撮影スポット巡りなど、周遊観光に繋げる取り組みを展開。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 新函館北斗駅を起点とした滞在型・周遊型観光を推進するため、これまで造成してきた各種体験事業をツアー商品に組み入れられるよう旅行代理店に働きかけるほか、観光協会の自主事業として催行。 		

C 桜回廊事業（観光協会補助金）〔観光課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内の桜の名所（法亀寺しだれ桜、松前藩戸切地陣屋跡桜トンネル、大野川沿い桜並木）をライトアップすることで、北関東以北及び道内の誘客を図るため、イベント開催を支援。 		
事業費 (円)	H29決算額 12,342,690	H30予算額 12,828,000	H31予算要求見込額 12,828,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 4月29日～5月10日までの12日間開催し、入込数は103,311人、バス台数は294台となり、市内の桜の名所への誘客が図られた。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 4月28日～5月9日までの14日間開催し、入込数は9,182人増の112,493人、バス台数は90台増の384台となり、市内の桜の名所への誘客が図られた。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 北斗桜回廊は、ここ数年10万人規模の観光イベントとして成長してきたが、訪れる観光客をさらに市内へ回遊させ、地域経済への波及効果を高めようと、観光ガイド機能の強化や外国人旅行者向けのソフト事業を行う。 		

④ 広域観光による交流人口の拡大

A はこだて旅するパスポート&フリーパス発行事業（負担金） [観光課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 自治体及び交通事業者で組織する北海道新幹線沿線協議会が事業主体となり、新幹線沿線の観光資源、地域資源を活用して観光客の誘致を図るとともに、新函館北斗駅周辺エリアを周遊する利用客の利便性向上を目的として、エリア内の鉄道、バス、市電が2日間乗り放題となる共通フリー乗車券を発行。 対象エリアは北斗市、函館市、七飯町、鹿部町、森町の5自治体で、広域連携によりエリア内への誘客を促進。 		
事業費 (円)	H29決算額 180,000	H30予算額 180,000	H31 予算要求見込額 180,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI 達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> パスポートの利用促進のため、エリア内の観光資源やモデル周遊ルートに掲載したパンフレットを作成し、道内各所で配布。 鉄道、バス、市電が2日間乗り放題となる共通フリー乗車券は、1,467人の利用があり、広域での周遊が図られた。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> パスポートの利用促進のため、2市3町（函館市、北斗市、七飯町、森町、鹿部町）エリア内の観光資源やモデル周遊ルートに掲載したパンフレットを作成、道内各所で配布し、南北海道の回遊を促している。 本年度から、1日券を加え、旅行者の選択肢の幅を広げている。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 広域観光の一環として、引き続き、各市町と連携しながらエリア内の観光資源をPRし、エリア内への誘客促進、広域での周遊を図る。 		

施策③	特産品開発と6次産業化の推進
<ul style="list-style-type: none"> 津軽海峡と肥沃な大地がもたらす豊富で安全・安心な一次産品を活かした特産品の開発・販売と6次産業化を推進する施策を展開。 	

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> 新規開発特産品数及び一次産品直販施設販売額は、いずれも指標値を下回っており、事業者の意欲喚起を図りながら、制度の周知や販路拡大につながる事業の検討が必要。

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・新規開発特産品数	50品 (年間10品)	H29まで: 22品	44%
・一次産品直販施設販売額	2億5千万円	H29: 152,820千円	14%

① 特産品等の開発・PR

A 展示会等出店支援事業 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 国、道、自治体が主催・共催する物産展・商談会等に参加する際、渡島・檜山管内を除く道内又は東北6県に出展する場合は2万円、東北6県を除く道外に出展する場合は4万円を上限として、出展費用の一部を助成。 		
事業費 (円)	H29決算額 40,000	H30予算額 180,000	H31予算要求見込額 180,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 2社(菓子製造小売業、米穀小売業)が補助金を活用し、北斗市のPR及び事業者の育成、活性化につながった。 菓子製造小売業では、洋菓子、和菓子を出展し、百貨店出の出展、量販店への商品供給、海外(シンガポール、タイ、台湾)との商談が進行中。 米穀小売業では、真空小袋米を出展し、百貨店やスーパー、卸メーカーとの商談が行われ、真空小袋米の取り扱いについて成約を得た。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 現時点で2社(菓子製造小売業、米穀小売業)が補助金を活用。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 商談が成立するなど中小企業の活性化に成果が認められたため、補助制度を継続。 対象が国又は地方公共団体が主催・共催する物産展・商談会等に限定されているが、公的な機関や団体が主催・共催する物産展・商談会等に参加する際にも補助対象となるよう検討。 		

B 新商品研究開発・普及促進支援事業 [水産商工労働課]		廃止	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 北海道新幹線開業を契機とした事業であり、H30までの時限制度。 市内の商工業者が開発する新商品の開発に対し、1事業者で実施の場合は20万円、複数の事業者で実施の場合は50万円を上限として、その経費の2分の1を補助。 		
事業費 (円)	H29決算額 244,118	H30予算額 1,300,000	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 支援事業を実施することにより新商品開発の意識が高揚し、これまで新たに16商品を開発。 22商品の内訳としては、平成27年度で14商品、平成28年度で6商品、平成29年度で2商品を開発し、うち食品関係19品、その他3品。 販売額は平成27年度約1,688千円、平成28年度17,387千円、平成29年度15,462千円。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 6事業者(6商品)からの申請があり補助採択。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 目標の開発数に達することはできなかったが、新商品開発という成果は得られた。 今後は、6次産業化の推進に資する支援制度を検討。 		

C ふるさと納税を活用した特産品PR [企画課]		H29新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」を活用した、北斗市ふるさと納税PRを継続及び市内事業所へ返礼品登録の案内を行い、市特産品の登録を推進する。また、東京都内で行われるイベント内でふるさと納税のプロモーションを行い、返礼品として登録されている市特産品をPRする。 		
事業費 (円)	H29決算額 18,677,631	H30予算額 19,143,000	H31予算要求見込額 20,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・返礼品登録 18事業所 46品目（うち新商品開発：5品目） ・ふるさと納税返礼品送付件数 2,455件 ・返礼品選択種別：米1,162件、加工品807件、肉292件、その他（お菓子・お酒・海産物・宿泊など）194件 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品などを返礼品に加えるよう事業者に対し働きかけを行う。 ・また、7月末に返礼品割合の見直しを行った。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市特産品の登録を促し、ふるさと納税のPR機会を活かし、市特産品のPRをする。 		

② 6次産業化の推進

A 農産物の加工販売等への支援 [農林課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農協や個々の農業者が行う農産物の加工販売等に対して、必要な情報提供やPRなど側面からの支援を実施する。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化の概要や国・北海道が実施している支援策などを北斗市ホームページに掲載し、情報提供に努めた。 ・新たに取り組んだ農業者は見られなかったが、農協では地元産の酒米での清酒や「ふっくらりんご」を原料としたビールの製造販売に取り組んだ。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き情報提供し、側面から支援。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化の推進に資する支援制度を検討。 		

B 北斗フィッシャリーの有効的な活用 [水産商工労働課]		H29新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・上磯郡漁協直営の北斗フィッシャリーを、市としても観光アイテムにおける水産分野の中心施設として捉え、旅行会社等へのPRや情報提供を推進していくことにより、観光業の振興や地域水産物のPR、消費拡大などを促進。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	<p>実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協直営店として知名度を高めていっており、平成28年度に比べ集客数の落ち込みが見られる状況であるが、専属職員の配置や様々なイベントへの出店等も予定しており、これからも地域水産物のPRや消費拡大等が期待できる。 		
H30	<p>実施結果、実施状況、改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協では新たな取組として、新函館北斗駅前での「土曜市」への参加や、「北斗フィッシャリー感謝祭」の開催など更なるPR活動等に注力している。 		
H31	<p>予算計上に向けた考え方、見直し等の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北斗フィッシャリー整備に係る財政的支援が行われ、6次産業化の推進に向けた初期段階の役割が果たされたと考えているが、今後においてもH30年度の活動状況等に注視・分析しながらソフト面での協力を継続して行う。 		

施策(4)	お客さまをお迎える
・新函館北斗駅がある街にふさわしい、旅行者の皆さまをお迎える新たな風土を育む施策を展開。	

【施策の評価】

・市内宿泊者数は、ホテルの建設が要因となり、ほぼ指標値を達成している状況にある。
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・市内宿泊者数	9万人	H29 : 88,400人	97%

A 新駅周辺花壇植栽事業〔都市住宅課〕		継続	既存事業
事業概要	・新函館北斗駅のイメージアップを図り、彩りと明るさを添え、賑わいを創出することで、観光客・帰省客に心地よい印象をもって頂くことを目的に実施。		
事業費 (円)	H29決算額 10,639,000	H30予算額 11,750,000	H31予算要求見込額 10,843,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・プロポーザル方式（単年度契約）により実施することで、民間企業の能力を取り入れデザイン性の向上が図られ、最適な維持管理を行うことが出来た。 ・大野農業高校園芸科のボランティアの力も借りながら、4月から10月末までの間で2パターンの花飾を実施し、新函館北斗駅を訪れた方々の目を和ませ、心地よさを演出することが出来た。 ・新駅休憩スペースやホテル・ラ・ジェント・プラザ内で、この事業に対するアンケート調査を実施。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・プロポーザル方式（3ヶ年継続契約）により実施することで、民間企業の能力を取り入れデザイン性の向上、継続的な花の確保、最適な維持管理を目指す。 ・大野農業高校園芸科のボランティアの力も借りながら、4月から10月末までの間で2パターンの花飾を実施し、新函館北斗駅を訪れた方々の目を和ませ、心地よさを演出。 ・平成29年度から実施しているアンケート調査を継続実施。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・プロポーザル方式（3ヶ年継続契約の2年目）により実施することで、民間企業の能力を取り入れデザイン性の向上、継続的な花の確保、最適な維持管理を目指す。 ・大野農業高校園芸科のボランティアの力も借りながら、4月から10月末までの間で2パターンの花飾を実施し、新函館北斗駅を訪れた方々の目を和ませ、心地よさを演出。 ・平成29年度から実施しているアンケート調査を継続実施。		

B 新函館北斗駅前活性化事業〔水産商工労働課〕（再掲）		継続	既存事業
事業概要	・観光交流センター別館に隣接するイベント広場を整備し、新駅周辺地区の活性化及び賑わいを創出する。		
事業費 (円)	H29決算額 17,992,800	H30予算額 3,643,000	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・新駅周辺の魅力向上を目指し、関係事業者との意見交換を実施。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・新函館北斗駅前の賑わいを創出するため、新函館北斗駅前イベント広場を会場として、農産物や海産物等の販売を行う土曜市を4月から10月までの期間で月1回実施。 ・観光交流センター別館の出店者によるイベントや民間団体によるイベントが実施されており、新函館北斗駅前の賑わいを創出。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・関係する事業者や団体が主体的に取り組むイベント等が定着するよう活用の促進を図る。		

施策(5)	二次交通の充実による交流人口の拡大
・市内の魅力を結び、交流人口が広がる基盤となる公共交通を充実する施策を展開。	

【施策の評価】

・指標値の達成に向けて、利便性の向上が図られている一方で、二次交通としての利用促進が課題となっている。

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗状況
・市内運行の路線バス乗車密度	6.3人	7.4人	+1.1人

① 公共交通による利便性の向上

A バスICカードシステム整備事業 [企画課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新函館北斗駅からの二次交通の一つであるバス交通では、平日約100往復の運行があり、そのうち50往復以上を運行している函館バスに対し、沿線住民や個人観光客の利便性向上を目的とし、北斗市を含む渡島管内の市町が協調補助を行い、平成29年度からICカードシステムを導入、平成30年度から定期券機能を付加。 		
事業費 (円)	H29決算額 430,123	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・北斗市を含む渡島管内の自治体が、バス事業者に対し、ICカードシステムの機能の拡充に対する経費に対し、協調補助を行い、平成30年4月1日から定期券機能が付加され、乗降時間の短縮など沿線住民や個人観光客の利便性向上が図られた。 ・課題として、市内の公共交通では、函館バス以外でICカードが使用できないことが挙げられる。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用拡大を図るため、バス事業者と連携し、ホームページ等を通して、ICカードの利用方法も含めバス交通等のPRを実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用拡大を図るため、バス事業者と連携し、ホームページ等を通して、バス交通等のPRを実施。 		

B 新函館北斗駅までのバス新規路線開設 [企画課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在運行している「南北市街地連絡バス」の見直しを含めた、事業者による旧上磯地区からの新函館北斗駅までの新規路線を開設。 ・新路線名「新函館北斗駅・上磯線」。 		
事業費 (円)	H29決算額 8,600,000	H30予算額 9,212,000	H31予算要求見込額 11,400,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・従来の「南北市街地連絡バス」の利便性を維持しつつ、今後も地域に必要な足として新たな需要に対応していくため、「南北市街地連絡バス」の見直しについて、「地域公共交通会議」に諮り、新函館北斗駅から上磯地区までの幹線バスとして、平成30年度の冬ダイヤから運行することを協議。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・現在運行している「南北市街地連絡バス」の見直しを行い、平成30年11月16日から事業者による新函館北斗駅から旧上磯地区までの新規路線（新函館北斗駅・上磯線）を運行することとなった。 ・運賃などの変更点を周知し、利用拡大に向け、PRを実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の拡大に向け、PRを実施。 ・毎年11月を目途に、運行状況等について、評価・検証し、必要な場合は見直しを行う。 		

C 公共交通のあり方検討 [企画課]		H30新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・モータリゼーションの進展や少子化により公共交通の利用者が減少している一方で、自動車運転免許証の返納などの動きにより、マイカーを利用できない交通弱者が増えていく中、新たな公共交通（デマンド交通等）の運行を目指し、本市の地理的条件に適した持続可能な公共交通のあり方を検討する。 		
事業費 (円)	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
		548,000	未定
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域特性に適した地域公共交通のあり方について、今後の少子高齢化や人口減少を見据えて、本格的な議論を始め、平成30年度以降、地域限定のデマンド交通も含め、幅広く検討。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者等の買い物や通院など日常生活における公共交通の利用実態やニーズなどを調査し、その結果を踏まえ、新たな公共交通（デマンド交通等）のあり方を検討し、方向性を示す。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな公共交通（デマンド交通等）の実証実験を行い、その結果を検証し、H32年度以降の本格運行に向け検討。 		

② 道南いさりび鉄道の利用促進

A 道南いさりび鉄道地域応援隊への活動補助 [企画課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道南いさりび活動を活用した地域おこしのため活動する、沿線自治体の北斗市、函館市、木古内町から推薦を受けた隊員が連携して行う、利用促進に向けた活動に要する経費を補助。 		
事業費 (円)	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
	100,000	100,000	100,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・お絵かき列車、駅の美化活動や観光列車への協力として上磯駅前商店会と連携した上磯駅での立ち売りや茂辺地駅での農協や漁協と連携した海鮮焼きなど、利用促進に向けた活動に対し支援。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・駅の美化活動、公共交通利用促進キャンペーンや観光列車への協力として上磯駅前商店会と連携した上磯駅での立ち売りや茂辺地駅での農協や漁協と連携した海鮮焼きなど、利用促進を図る取り組みに対し支援。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続実施。 		

B 清川口駅舎の改修 [企画課]		H30新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道南いさりび鉄道の清川口駅の老朽化に伴う改修に合わせ、外壁を「ながまれ号」カラーに塗装し、道南いさりび鉄道への関心を高め、利用促進を図る。 		
事業費 (円)	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
		8,000,000	
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・清川口駅舎の改修に合わせ、外壁を「ながまれ号」カラーに塗装し、いさりび鉄道への関心を高めてもらうきっかけづくりとし、かなで〜るや市役所から近く、利便性の高い駅であることを再認識してもらう。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・道南いさりび鉄道の新たな魅力として、PRする。 ・単線ホームとして、乗降の利便性等を周知し、利用促進を図る。 		

C 市内公共施設利用と道南いさりび鉄道との連携 [企画課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・かなで〜るなど、市内にある鉄道沿線の公共施設で開催される催しなどでの鉄道利用を呼びかける。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・市と道南いさりび鉄道のホームページ等を利用し、道南いさりび鉄道沿線の公共施設や開催される催しなどのPRと合わせ、鉄道の利用促進を呼びかけた。 ・かなで〜る開催のコンサート等では、清川口駅の通常時の利用者より5~10人程度増えている。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・市と道南いさりび鉄道のホームページ等を利用し、道南いさりび鉄道沿線の公共施設やイベント、地域資源などの地域の魅力を発信し、鉄道の利用促進を図る。 ・かなで〜るの6月開催の吹奏楽祭や7月開催の吹奏楽コンクールでは、清川口駅の通常時の利用者より30~40人ほど利用者が増えている。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続実施。 		

D 公共交通利用促進PRの強化 [企画課]		H29新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用促進として、H29年度には印スタラリー（スタンプラリー）を実施し、さらに、平成30年度からは公共交通利用促進キャンペーンを実施し、道南いさりび鉄道等の利用を呼びかけるとともに、市内の施設やイベントを巡ってもらい、交流人口の拡大を図る。 		
事業費 (円)	H29決算額 404,388	H30予算額 595,000	H31予算要求見込額 750,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数162人であったが、参加者数が振るわなかったため、実施時期や方法等の見直しを行う必要がある。 ・実施時期10/1~11/30 市内14箇所にスタンプを設置 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用促進キャンペーンの実施し、公共交通への理解を深めてもらう。 ・印スタラリー（スタンプラリー）を拡充し、道南いさりび鉄道など公共交通の利用を呼びかけ、市内の観光施設や公共施設を巡ってもらい、交流人口の拡大を図る。 ・実施時期：8/1~10/31 市内24箇所にスタンプを設置。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用促進キャンペーンを引き続き実施し、公共交通への理解を深めてもらう機会を拡充させ、いさりび鉄道をはじめとする公共交通のPR強化に努める。 ・印スタラリー（スタンプラリー）を継続し、道南いさりび鉄道など公共交通の利用を呼びかけ、市内の観光施設や公共施設を巡ってもらい、交流人口の拡大を図る。 		

施策⑥	企業立地による雇用創出と地域経済の活性化
・北斗市の立地環境の優位性を活かした企業立地によって企業の競争力を高め雇用を創出する施策を展開。	

【施策の評価】

・市の補助制度を活用した新駅周辺以外への企業立地はほとんど進んでいない状況にあり、制度の周知が必要であるが、一方で大手企業の進出や新規出店など、地域経済の活性化に向けた動きがある。
--

重要業績評価指標（KPI）	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・新駅周辺以外への企業立地数（増設含む）	10社	2社	20%
・新駅周辺以外への雇用増加数	100人	11人	11%

① 立地環境の優位性を活かした企業立地の促進

A 企業立地補助金〔水産商工労働課〕		継続	既存事業
事業概要	・市内に工場、特定事業所等立地する企業に対し、投資額2,500万円以上で雇用増加を見込める場合、2億円を限度として、雇用増加人数に応じて投資額の10%から25%を助成。		
事業費（円）	H29決算額 76,205,000	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・2社の増設に対し助成を実施し、11人の雇用増加が図られた。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・補助申請はない見込。（現時点での相談なし）		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・申請が見込まれる場合に予算措置する。		

B 企業立地促進等税制（固定資産税の課税特例）〔税務課〕		継続	既存事業
事業概要	・国の企業立地に対する税制優遇制度を満たす、一定の工場、事業所、事務所等を市内に立地した企業に対し、固定資産税を3年間に限り、不均一課税や課税を免除する特例措置を実施。		
事業費（円）	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・1社の工場増設があり、平成29年度より課税免除を実施し、雇用増加が図られた。（課税免除額：4,589千円）		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・新規の適用はないが、平成29年適用事業者に対し2年度目の課税免除を実施。（課税免除額：4,135千円） ・従来の企業立地促進法が改正され、地域未来投資促進法となったことに伴い、適用要件が緩和されるなどの改正が行われ、平成30年度固定資産税から実施。（適用なし）		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・生産性向上特別措置法に基づく先端設備等の固定資産に対し、3年間課税標準額をゼロとする特例措置を条例規定し、平成31年度の固定資産税から実施。		

② 企業立地の調査研究

A 企業立地説明会等への参加-[水産商工労働課] (再掲)		継続	既存事業
事業概要	・企業を対象とした立地セミナーやフォーラム等に参加し、立地環境や制度等のPRを実施。		
事業費 (円)	H29決算額 604,940	H30予算額 1,003,000	H31予算要求見込額 1,003,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・首都圏に4回、札幌市に3回、フォーラムへの参加や企業訪問を行い、PRや企業誘致を実施。 ・101社と直接、接触が図られた。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・フォーラムや企業立地セミナー等へ参加して立地環境や補助制度等のPRを実施するほか、問い合わせ等のあった企業を個別に訪問し、企業誘致を推進。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・フォーラムや企業立地セミナー等へ参加して立地環境や補助制度等のPRを実施するほか、問い合わせ等のあった企業を個別に訪問し、企業誘致を推進。		

B 北斗市事業創造会議の設置 [企画課]			
事業概要	・総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、外部の専門家による北斗市事業創造会議の開催を通して、地域の活性化につながる事業を企画し、創造する。		
事業費 (円)	H29決算額	H30予算額 5,357,000	H31予算要求見込額
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・新函館北斗駅から道南いさりび鉄道沿線、さらには茂辺地・石別地区へ人の流れが生まれる事業の企画にあたり、地域力創造アドバイザー制度の活用を検討。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・年度内に6回の会議を開催し、事業計画を策定。 ・5月に第1回会議を開催し、現状分析基礎調査内容の説明と事業分野を検討。 ・7月に第2回会議を開催し、検討を進めていくべき事業の調査内容と説明とヒアリング実施。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・事業化への遂行方法を確認し、事業展開に向けた検討。		

施策(7)	まちをもっと元気にする産業振興
<ul style="list-style-type: none"> 一次産業の高収益化や商店街の活性化など、まちを元気にする地域の産業振興を図る施策を展開。 	

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> 一次産業における所得の安定など、一定の効果は認められる。
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・新規就農者数	10人 (2人/年)	H29まで：3人	30%
・新規就漁者数	5人 (1人/年)	H29まで：3人	60%
・新規起業・創業	25人 (5人/年)	H29まで：8人	32%

① 農業の振興

A 施設園芸用ハウス等導入事業〔農林課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設園芸を組み込んだ複合経営の推進は、北斗市農業の発展のためには欠かせないものであることから、ビニールハウス等の導入に対する経費の一部を助成。 補助率は事業費の1/2以内。 		
事業費(円)	H29決算額 9,830,000	H30予算額 10,000,000	H31予算要求見込額 10,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ビニールハウス等の導入に対する助成をすることで、市の基幹作物であるトマト、ネギ、ホウレン草を代表とする施設野菜の売上が増加し、農業者の経営発展が図られた。 実績：ビニールハウス 29棟、温風機等 3台を導入。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 農業者の更なる経営発展を推進するため、事業を継続実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 農業者の更なる経営発展を推進するため、事業を継続実施。 		

B 北海道農業次世代人材投資事業〔農林課〕		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度までの青年就農給付金事業から制度改正された事業で、従来からの経営が不安定な就農初期段階の青年就農者(原則45歳未満)に対して、青年就農給付金(年間150万円/5年間)を給付する内容に大きな変更点はないものの、離農した場合の返還義務要件や給付期間中の中間評価の導入などが変更された。 		
事業費(円)	H29決算額 5,250,000	H30予算額 7,500,000	H31予算要求見込額 4,500,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 就農初期段階の不安定さを補い、営農に集中することが図られた。 実績：150万円×3名、75万円×1名 新規就農者を受入れる方策として、渡島総合振興局が主催の渡島農業お仕事フェアに参加し、北斗市の農業の特徴などPR活動を実施。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 実施予定：150万円×4名、75万円×2名 平成29年に引き続き実施予定の渡島農業お仕事フェアに参加し、新規就農者の掘り起こしに努める。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 人材投資事業と併せて新規就農者に対する支援策を検討するため、先進地の取り組みについて情報収集し、北斗市の実施可能な取り組みについて検討。 		

C 肉牛振興対策事業 [農林課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・血統の優れた黒毛和種雌牛を繁殖用として自家保留又は市場購入したものに対し、1頭当たり10万円を補助。 		
事業費 (円)	H29決算額 1,744,820	H30予算額 2,260,000	H31予算要求見込額 2,260,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・肉牛振興対策事業の実施により、畜産農家の経営改善・経営基盤の確立が図られた。 ・実績：16頭×10万円、受精卵5頭=144,820円 合計1,744,820円 対象戸数：8戸 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・更なる経営安定のため、事業継続。 ・実施予定：19頭×10万円、受精卵11頭=36万円 合計2,260,000円 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・更なる経営安定のため、事業を継続実施。 		

② 漁業の振興

A 新規漁業就業者支援事業補助金 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・研修経費補助事業…漁業研修計画の認定を受けた方（研修生）に対し、北海道立漁業研修所で実施される総合研修を受講する際に要する経費の一部を補助。 ・船舶等取得補助事業…研修生や、漁業研修計画に基づく2年間の研修を終了し漁業経営を開始した方（漁業新規参集者）に対し、必要な船舶等の取得に要する経費の一部を補助。 ・新規参集者支援事業…漁業新規参入者に対し、経営が安定するまでの一定期間において経営に要する費用の一部を補助。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者に対する様々な支援事業補助金の新設、周知等により漁業に関心を持つ方が増えた。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金制度の設立以前と比較すると、就業に対する問合せが増えたが、漁業研修につながる相談には至っていない。 ・今後はまず漁港や前浜での作業見学などを勧めるなど、未経験者への対応を考慮。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・補助制度の内容について検討。 		

B つくり育てる漁業の推進 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ウニ高品質化推進事業 従来、海藻類が形成されていた海域で、水深の深い区域ではウニ漁が行われていなかったことから、大量のウニが生息しており、藻場が減少していたため、この深い海域のウニを浅瀬に移殖（密度管理）し、藻場の回復を図るとともに、さらなる回復促進のため養殖コンブ施設（母藻）を設置。 ・ホッキ貝漁場環境保全事業 ホッキ資源の減少している原因がヒトデによる食害、海底が固くなることなどの生育環境の悪化が考えられ、ヒトデの駆除、海底の耕うんにより、栄養が吸収されやすくなるよう環境を改善し資源保護を図る。 ・漁船改良事業（ホッキ貝噴流式桁引き漁法推進事業） ホッキ桁引き漁船で使用している船外機は、老朽化により故障が頻発しているため、省エネで高馬力の船外機及びデリック用電動ウインチ等も同時に改良・整備することにより、効率的・計画的な作業を可能とする体制を構築。 ・アワビ資源回復事業 アワビの人工種苗を放流して親貝の増大、稚貝の二次発生を促し、天然貝と合わせて自然増を促進させアワビ資源の回復を図る。 ・カキ養殖推進事業 平成26年度から新たなつくり育てる漁業の品目としてカキの養殖事業に取り組んでおり、新たな特産品として期待されることから、養殖資機材や種苗購入費の一部を助成。 ・こんぶ・わかめ養殖施設改良事業 養殖施設の老朽化が激しく、毎年、土壌の増設、補修をしながら使用している状況であり、これまでの時化により横転しているものが多数あるため、養殖施設の改良を行い、施設の安定化と長寿命化を図るとともに、安定したコンブ、ワカメの生産体制の構築を図る。 		
	事業費 (円)	H29決算額 17,638,262	H30予算額 8,503,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウニ高品質化推進事業 ウニの密度管理を適正に、かつ継続的に行うことにより藻場の回復が図られた。（深浅移殖：3カ所14t、コンブ母藻3基） ・ホッキ貝漁場環境保全事業 海底の耕うんを実施し生育環境の改善を行いながら、モニタリング調査でのデータを活用して資源保護が図られた。 ・漁船改良事業（ホッキ貝噴流式桁引き漁法推進事業） 作業効率の向上や省力化が図られるとともに、計画的な操業が可能となった。（船外機2基、電動ウインチ1台） ・アワビ資源回復事業 種苗放流により資源の増大が図られたとともに、放流種苗が成長して将来的に母貝になり、二次発生が促されることで、資源の自然発生が期待できる。（アワビ種苗35mm 24,000個） ・カキ養殖推進事業 新たな特産品としての認知度が上がってきたのと同時に取組漁家の生産意欲の向上につながった。 ・こんぶ・わかめ養殖施設改良事業 整備後30年が経過している養殖施設を改良することで、施設の安定化と長寿命化は図られた。今後更なる安定したコンブ、わかめの生産体制の構築が期待できる。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウニ高品質化推進事業 ～ 継続 ・ホッキ貝漁場環境保全事業 ～ 継続 ・アワビ資源回復事業 ～ 継続 ・カキ養殖推進事業 ～ 継続 ・アサリ生息環境改善事業 ～ 継続事業であったが、H29年度のみ休止、H30年度から再開。 昨今アサリ漁場の環境悪化が懸念されているため、客土による漁場の復元、ケアシエルを散布してからの耕うんなど効果的な底質改善のほか、外敵駆除を行う。 ・ホッキ・カキ蓄養施設改良事業（新規事業） 老朽化及び手狭となっている上磯郡漁協上磯支所の蓄養施設を改良し、ホッキ貝の蓄養水槽を増設、また、カキ蓄養水槽の改良を行い、蓄養量の増大及び安定的な供給を図る。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウニ高品質化推進事業 ～ 継続 ・ホッキ貝漁場環境保全事業 ～ 継続 ・アサリ生息環境改善事業 ～ 継続 ・アワビ資源回復事業 ～ 継続 ・カキ養殖推進事業 ～ 継続 <p>これまでも「つくり育てる漁業」を継続して実施してきたからこそ、昨今、問題視されている環境変化等が懸念されても、一定の漁獲水準が保たれたと考えており、今後も現状に合った内容の事業に取り組む。</p>		

③ 商工業の振興

A 本町商店街活性化事業補助金 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	・本町商店街の振興を図るため、本町商店街への新規参入や既存商店の業種転換する場合、500万円を限度として、その経費の2分の1を助成。		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 5,000,000	H31 予算要求見込額 5,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・実績なし。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・補助申請はない見込。(現時点での相談なし)		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・本町商店街への新規商店の参入と既存商店の業種転換を推進するため、平成24年度から大野市街通整備事業年度までとした制度であり、継続して実施。		

B 中小企業振興資金利子補給補助金及び信用保証料補給交付金 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	・中小企業の振興を図るため、運転資金(1,000万円以内)や設備資金(2,000万円以内)の融資を受けた事業に対して、利子補給率で年1.0%及び信用保証料の135分の100を助成。		
事業費 (円)	H29決算額 8,175,935	H30予算額 11,662,000	H31 予算要求見込額 11,662,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・運転資金28件、設備資金15件の計43件の新たな融資に対する助成が行われ、経営の安定化が図られた。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・運転資金140件、設備資金68件の計208件の融資に対して助成が行われており、企業による制度の活用が図られているもので、継続して実施。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・事業の継続実施。		

C 観光交流センター別館の指定管理 [水産商工労働課] (再掲)		継続	既存事業
事業概要	・新函館北斗駅及び周辺地区の利便性の向上、地域の活性化を図るため、お土産や弁当などの販売や飲食物を提供するテナントが入居する観光交流センター別館を設置し、指定管理により運営。		
事業費 (円)	H29決算額 3,870,000	H30予算額 4,148,000	H31 予算要求見込額 4,148,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・入居している18店舗全体で延べ292,588人が利用し、利便性の向上及び地域の活性化につながっている。 ・18店舗中、1店舗が撤退し、隣接する店舗が拡張する形で17店舗での運営。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・4店舗が撤退し、13店舗での運営となっていることから、利用料等の収入減が見込まれる。 ・4店舗が撤退したことにより売り場面積は14%減少したが、利用者は10%減で推移。 ・空き区画のテナント募集を継続して行い、早期の入居を目指す。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・関係する事業者や団体が主体的に取り組むイベント等に対する支援制度を検討。 ※新函館北斗駅前を含めて市内全体		

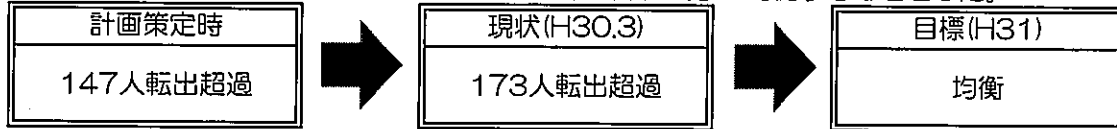
D 求人情報の発信 [水産商工労働課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・就労場所の確保と経済発展の一体的な取り組みを行うため、市民や移住・定住希望者等に対して、市内企業の求人情報をホームページで発信。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31 予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業7社の求人情報をホームページで発信。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業6社の求人情報をホームページで発信。 ・無料職業紹介所による農家の求人情報をホームページで発信。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続実施。 		

基本目標2	北斗市らしさを活かして人を呼び込み、呼び戻す ～ 地方への新しい人の流れをつくる ～
-------	---

数値目標：社会動態の均衡

※1年間で北斗市へ転入した人数と北斗市から転出した人数の差を0とする。

※人口ビジョンでは、平成28(2016)年以降、直ちに均衡することとした。



施策(1)	移住・定住の促進
<ul style="list-style-type: none"> ・北斗市らしさを積極的に発信し、人を呼び込み、呼び戻すとともに、北海道新幹線をはじめとする高速交通体系網の拠点エリアとしての優位性を活かしたI・J・Uターンや空き家バンクなどによる移住・定住に関する施策を展開。 	

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住の促進に一定の効果は認められるが、指標値の達成に向けた進捗状況は、今後の推移を注視していくことが必要である。
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗状況
・札幌圏及び道外からの転入者数	700人	H29：475人	△225人
・首都圏との人口移動の均衡化	均衡	H29：85人転出超過	△85人

① 知ってもらおう・ほくと

A 移住相談窓口の開設 [企画課]		拡充	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者をトータルにサポートするため、地域おこし協力隊を活用し平成28年10月に開設した移住相談総合窓口の機能充実を図り、住まいや仕事、子育てなど北斗市での暮らしに関する様々な情報を提供 ・自然や食、観光など北斗市の魅力発信のほか、平成29年度から実施している移住支援制度の周知と円滑な運用を図る。 		
事業費 (円)	H29決算額 3,743,996	H30予算額 3,786,000	H31 予算要求見込額 3,786,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談へのワンストップサービスを図ることができた。 ・相談実績 移住相談 21件、空き家相談 22件 ・転入実績 11件 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・相談実績 (4月～7月) 移住相談16件、空き家相談8件 ・移住検討者の多様な相談に対応するため、各種制度の理解や情報把握に努めている。 ・現在の地域おこし協力隊の任期が平成30年度末までとなり、その後の運用方法を検討。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の機能を維持しつつ、担うべき人材の確保と育成、任用方法等の検討。 		

B 移住プロモーション活動の実施【企画課】		拡充	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進に向けた取組みを効率的かつ効果的に実施するため、道内の市町村が連携し移住PR事業や情報交換等を行う北海道移住促進協議会に加入し、平成29年6月と11月に東京都で開催される「北海道暮らしフェア（NPO法人すんでみだい北海道推進協議会主催）」への参加や、「北海道で暮らそうガイドブック」への情報掲載、協議会WEBサイトからの情報発信等を実施。 		
事業費 (円)	H29決算額 545,120	H30予算額 1,192,360	H31予算要求見込額 1,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・移住に関する情報発信と移住検討者への北斗市の周知が図られた。 ・相談実績 6月 11件、11月 13件 ・北斗市移住プロモーション基本戦略においてターゲットとしている札幌市や大阪、名古屋でのプロモーション活動についても、検討する必要あり。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に加入した北海道移住促進協議会が主催する移住フェア等への参加や情報発信等の実施。 ・札幌圏の移住検討者をターゲットとしながらも、首都圏等からの観光客にもPRが可能な札幌地下歩行空間（6月）や千歳空港（8月）で開催される移住フェアへも参加。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの首都圏や道央圏で開催された移住フェアへの参加実績や効果を踏まえ、大阪や名古屋で開催される移住フェアへの参加を検討。 ・ふるさと回帰支援センターの団体会員に加入し、南北海道地域での広域連携や山梨県北杜市との合同移住セミナーなど、集客力や実効性の高いセミナーを開催。 		

C 介護福祉職就業・移住合同説明会の開催【企画課】		H30新規	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・移住を検討する際の大きな課題となる移住後の仕事について紹介するとともに、市内の介護福祉職の人材不足解消を図るため、老人保健施設等を運営する市内の社会福祉法人と協働で、便利で暮らしやすい生活環境と、働きやすい職場環境を一緒に説明するセミナーを東京都のふるさと回帰支援センターで開催。 		
事業費 (円)	H29決算額	H30予算額 914,888	H31予算要求見込額 800,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道が主催する介護職向けモニターツアーに2名参加。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・約20名の社会人が参加し、北斗市での暮らしや各施設の職場環境等を紹介できたこと、さらに各法人と協働開催したことなど、一定の効果はあったが、学生の参加はなく、実際の北斗市への移住つながるような実現性の高い移住検討者を集めることは難しかった。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の事業実績を踏まえ、大学の就職支援担当などと相談し、多くの学生の参加に繋がる開催場所や時期について検討し、実効性の高いセミナーを開催。 		

D 市民総ぐるみによるシティプロモーションの展開〔企画課〕		H30新規	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線による新たな人の流れを今後も持続的に発展させるため、これまで取り組んできた魅力の創出や発信に加え、新たな魅力を外から呼び込み、全国から人が集まる活気にあふれるマチを内外にアピールする。 ・戦略的な情報発信に努め、移住をはじめとした個別施策において北斗市が「選ばれる」ために重要な要素となる認知度や地域イメージの向上を図る。 		
事業費 (円)	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
		6,543,000	5,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・北海道や函館市とのMICE等誘致に関する協議。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・「HOP Star Project」の協力事業者により、市内で開催される各種大会や公演等において、飲食ブースの開設やクーポンの発行などを実施。 ・市内小中学生の修学旅行や対外競技活動における遠征先でのシティプロモーションを展開。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・平成30年度のプロモーション実績を踏まえ、より具体的なMICE誘致活動の実施。		

② 行ってみよー・ほくと

A 着地型観光促進事業（観光協会補助金）〔観光課〕（再掲）		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の収穫や地引網での漁獲など、本市の基幹産業における「体験型観光」並びに市内観光地を結んだ「周遊観光」のルート構築を進め、本市の食資源や自然資源などを生かした受入れメニューの拡充、環境づくりを支援。 		
事業費 (円)	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
	217,812	1,809,000	1,809,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・地元農家と連携した「夏野菜収穫体験」や自然資源を生かした「ノルディックウォーク」などの体験観光事業を造成。 ・市内観光農場や北斗フィッシャリーへの誘客を図るため、造成した体験観光事業と組み合わせ、滞在型・周遊型観光の商品化に向けた招聘旅行を実施。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・新たな体験メニューとして、きじひき高原での「星空・日の出鑑賞」や、匠の森公園での「お手軽BBQ」を施行的に実施。 ・地元農家と連携した「夏野菜収穫体験」、自然資源を生かした「ノルディックウォーク」を継続実施。 ・フォトコンテストの通年実施を通じ、撮影スポット巡りなど、周遊観光に繋げる取り組みを展開。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・新函館北斗駅を起点とした滞在型・周遊型観光を推進するため、これまで造成してきた各種体験事業をツアー商品に組み入れられるよう旅行代理店に働きかけるほか、観光協会の自主事業として催行。		

B 移住体験ツアーの実施 [企画課]		H29新規	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の移住・定住プロモーション業務のメニューの一つとして、首都圏在住の子育てファミリーを対象に、北斗市での暮らしを実際に体験し、暮らしやすい生活環境や手厚い子育て支援施策、充実した教育環境などの理解を深め、魅力を感じてもらうことにより、移住促進を図る。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額	H31 予算要求見込額
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 10月7日～9日に実施し、首都圏在住の4組の家族（14名）と北斗市在住の2組の家族（5名）が参加。 内容は、大野中学校での部活動見学、八郎沼公園での親子レク、飲食店での食事や交流会、めぐりへい屋やスーパーでの買い物など。 ツアーの様子を「北斗市移住・定住ポータルサイト」に掲載し、移住情報を発信。 ツアー参加者や受託事業者、市の担当者によるSNS（フェイスブック）を開設し、北斗市の生活環境や子育て支援施策、移住に向けた課題などについて、情報共有を図った。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ツアー参加者に対し、移住セミナーやフェアの開催案内を送付するなど、継続的な北斗市への移住促進を図る。 北海道が実施する就業体験モニターツアーへの協力と参加。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 実現性の高い移住検討者を対象とした実施手法の検討。 		

C インターンシップの実施 [企画課]		H29新規	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内の企業の協力により、首都圏等の学生を対象にインターンシップを実施。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 2,000,000	H31 予算要求見込額 2,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 9月14日～16日に実施し、東京と札幌から3名の学生が参加。 市内4つの企業や団体での就業体験を通じて、将来性や発展性、やりがいなどのほか、暮らしやすい生活環境を実感してもらい、さらにこのインターンシップの様子や参加学生の感想等を移住ポータルサイトで発信し、市内企業への就職促進を図った。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 市に就職する可能性の高い首都圏の学生を発掘するためのモニタリング調査を実施し、選考された学生を対象に、市内の介護や福祉、保育等の就業と北斗市での生活を体験するインターンシップを実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の事業実績を踏まえ、大学の就職支援担当などと相談し、地域における人材不足解消と将来性や発展性のPR可能な業種を検討した上で、市内企業への就職の可能性が高い学生を対象に継続実施。 		

③ 住んでみよー・ほくと

A 移住・定住プロモーション業務 [企画課]		拡充	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に策定した北斗市移住プロモーション戦略に基づき、キャッチコピー及びロゴマーク開発、移住PR動画やパンフレット製作、北斗市移住・定住ポータルサイト構築、移住者交流会や移住体験ツアーなどを実施。 		
事業費 (円)	H29決算額 20,351,400	H30予算額 13,389,000	H31予算要求見込額 10,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 移住PR動画（インパクト動画）の閲覧数 4,188回 H29.12月からH30.3月まで札幌地下歩行空間で放映。 北斗市移住・定住ポータルサイト閲覧数(H29.12~H30.7) 3,208回 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に制作した移住PR動画の拡散を図るため、首都圏や札幌市の駅や街なかに設置されているモニターやデジタルサイネージでの放映をはじめ、ポータルサイトやSNSなどのネット広告、映画の放映前CM（シネアド）を活用した情報発信を実施する。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の事業実績を踏まえ、移住PR動画の拡散を基本に効果的かつ効率的なプロモーション業務を実施する。 		

B 北斗市空き家バンクの運営 [企画課]		拡充	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内の空き家の有効活用と移住・定住の促進を目的に、平成28年11月に開設した北斗市空き家バンク制度の利用促進を図り、「北斗市移住・定住推進協議会」と連携しながら登録物件数の増など円滑な運用を推進。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク登録実績 22件 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクの登録物件数を増やすため、活用可能な空き家所有者に対し制度を周知するための文書を送付する。 居住目的以外での活用を促進する制度の検討。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクの登録要件について、「北斗市移住・定住推進協議会」と協議を行い、利活用の促進を図る。 		

C 移住・定住促進対策支援事業 [企画課]		H29新規	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に策定した北斗市移住プロモーション戦略を踏まえ、首都圏や札幌市に居住する地方移住志向者に対し、市の魅力をPRし、移住に結びつくよう、大都市圏からの移住者や茂辺地・石別地区への移住者に対し、世帯構成等に応じた加算措置を設け、引越費用等の助成を行う「三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金」の制度運用を開始。 北斗市空き家バンクの登録物件を居住目的で購入、又は賃貸する者に対し、世帯構成等に応じた加算措置を設け、購入費用等の助成を行う「空き家バンク利活用事業補助金」の制度運用を開始。 北斗市空き家バンクの利用促進と円滑運用を図るため、北斗市移住・定住推進協議会の活動費を助成。 		
	事業費 (円)	H29決算額 9,068,000	H30予算額 14,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等		
	<ul style="list-style-type: none"> 三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金交付実績 16件、1,743,000円 空き家バンク利活用事業補助金交付実績 10件、7,300,000円 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等		
	<ul style="list-style-type: none"> 住宅金融支援機構との相互協力に関する協定を締結し、三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金や空き家バンク利活用事業補助金の交付決定者のうち、子育て世帯や茂辺地・石別地区への移住など一定の要件を満たす場合は、住宅ローンの借入金利が優遇される制度を利用できるようになった。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向		
	<ul style="list-style-type: none"> 三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金や空き家バンク利活用事業補助金の運用実績を踏まえ、より効果的な制度への見直しを行う。 		

④ あき家再りよー・ほくと

A 空き家対策事業(利活用) [環境課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度において空き家住宅等実態調査をし、それらを基に放置空家への対応など施策を推進するため、平成29年10月に「北斗市空家等対策計画」を策定した。 活用可能な空家等の所有者等に対しては、適正管理を促すとともに、空き家バンク制度の周知を図ることと空家の有効活用が期待できるほか、移住者への呼び水や定住者が踏み留まる判断のツールの一つにする。 		
	事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等		
	<ul style="list-style-type: none"> 活用可能な空家等については、所有者等に適正管理を促すための文書を発送するとともに、空き家バンク制度などのチラシを同封し、空家等の活用を促した。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等		
	<ul style="list-style-type: none"> 活用可能な空家等については、所有者等に適正管理を促す文書を発送するとともに、空き家バンク制度の周知を図るためのチラシを同封し、制度の周知を図る。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向		
	<ul style="list-style-type: none"> 事業の継続実施。 		

B 北斗市空き家バンクの運営〔企画課〕（再掲）		拡充	戦略事業
事業概要	・市内の空き家の有効活用と移住・定住の促進を目的に、平成28年11月に開設した北斗市空き家バンク制度の利用促進を図り、「北斗市移住・定住推進協議会」と連携しながら登録物件数の増など円滑な運用を推進する。		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・空き家バンク登録実績 22件		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・空き家バンクの登録物件数を増やすため、活用可能な空き家所有者に対し制度を周知するための文書を送付。 ・居住目的以外での活用を促進する制度の検討。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・空き家バンクの登録要件について、「北斗市移住・定住推進協議会」と協議を行い、利活用の促進を図る。		

施策(2)	政府関係機関、民間機能の地方移転誘致の推進
・北海道新幹線をはじめとする高速交通体系網の拠点エリアとしての優位性を活かした政府関係機関や民間企業の本社機能（出先機関・研究機関）の地方移転誘致を推進する施策を展開。	

【施策の評価】

・政府関係機関の地方移転については、国によって結論が出されたが、民間機能の誘致活動については、情報収集に努め、継続的に取り組むことが必要である。
--

重要業績評価指標（KPI）	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・誘致活動の取組	2件	1件	50%

A 政府関係機関の誘致の取組み〔企画課〕		廃止	既存事業
事業概要	・地方への新しい人の流れを作るために位置づけられた「政府関係機関の地方移転」について、新たな移転対象が示された場合には、誘致実施に向けた検討・協議を行う。		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額	H31予算要求見込額
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・国による「政府関係機関の地方移転」に対する結論が出されたため、取組み実績なし		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・取組み予定なし。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・取組み予定なし。		

B 地方拠点強化税制（固定資産税不均一課税）【税務課】		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国の地方拠点強化税制（首都圏等からの本社機能移転が行われた場合に、税制上の優遇が図られる制度）を活用し、市においても固定資産税の特例措置を実施し、本社機能の移転を促すもの。 		
	事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度においては、実績なし 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続実施。 		

施策(3) 交流人口の拡大
<ul style="list-style-type: none"> 文化・スポーツ施設を活用した文化・スポーツ合宿の誘致と全道・全国規模の大会を誘致するなど、交流人口を拡大する施策を展開。 茂辺地地区と石別地区にしかない良さを活かし高めることで、両地区における交流人口の拡大する施策を展開。

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> スポーツ合宿誘致は、指標値の達成に向けて順調に推移しているが、文化合宿の制度は未整備。 茂辺地・石別地区の交流人口は、開業直後の年度に比べ減少しているが、両地区の創生事業により一定の効果が認められる。

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗状況
・合宿誘致による交流人口数	5,500人	H29 : 4,484人	△1,016人
・茂辺地・石別地区の交流人口数	9万人	H29 : 87,912人	△2,088人

① 文化・スポーツ施設を活用した交流人口の拡大

A スポーツ合宿推進事業【観光課】(再掲)		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 北海道新幹線をはじめ、陸、海、空の交通アクセスの利便性や、道内にあって冬は温暖で積雪が少なく、夏は冷涼な立地特性を生かすとともに、市内スポーツ施設の有効活用と民間宿泊施設の利用を推進することにより、滞在型スポーツ振興による交流人口の拡大と、地域経済の活性化を図る。 市民のスポーツ振興面でも、合宿に訪れるトップアスリートや強豪チームとの交流を通じ、技術やモチベーションの向上等が期待できる。 誘致活動に当たっての支援内容は、市内民間宿泊施設を利用した際の宿泊費助成(5人以上の2泊3日以上)の宿泊利用で、1泊当たり1人2千円)、スポーツ施設の無償使用、宿泊施設や関連事業者の紹介など。 		
	事業費(円)	H29決算額 10,712,972	H30予算額 10,806,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> H29実績では、56団体、1,379人の入込みで、延べ宿泊数は4,484泊となり、平成28年比で11団体、332人、818泊の増。 受入団体は小学校から大学までの学校、スポーツ団体が多く、受入れ時期は春休み、夏休みに集中する傾向がある。また、北海道新幹線開業の効果として青森県からの受入が増加。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 7月末現在での入込み状況は、平成30年と同程度で、好調に推移。 冬期間の室内競技、長期滞在が見込める実業団の入込み増をめざし、誘致活動を展開。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> リピーター確保に努めるとともに、平成32年春供用開始に向けサッカー、ラグビー競技の入込み確保に向け、誘致活動を展開。 市内スポーツ施設の不足を補うとともに、団体競技における練習試合の確保のため、近隣市町との連携強化を図る。 		

B 運動公園拡充事業【都市住宅課】		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 現在の運動公園の隣接地にサッカー・ラグビー兼用グラウンド2面(人工芝・天然芝各1面)、クラブハウス1棟、器材倉庫1棟、駐車場2箇所、ナイター照明設備(人工芝のみ)等を整備。 		
	事業費(円)	H29決算額 388,110,000	H30予算額 457,151,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> グラウンド(2面)や駐車場の基盤整備、排水施設整備等の工事を実施。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 天然芝舗装・防球ネットの一部施工・観客席の建設、クラブハウス建設等の工事を実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 人工芝舗装・ナイター照明施工・駐車場舗装等の工事を実施。 平成31年秋の市民スポーツの集いで的一般公開と平成32年春の供用開始を目指す。 		

② 茂辺地地区・石別地区の交流人口の拡大

A 茂辺地地区創生事業〔企画課〕		H29新規	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域の新しいランドマークである寝台特急北斗星を活用し、交流人口の増加につなげるため、茂辺地北斗星広場の整備やラーメンなどの食を提供する「北斗軒」の運営、いつまでも健康で生き生きと過ごせるようなサロン活動など、茂辺地地区創生会議における事業を支援。 		
事業費 (円)	H29決算額 23,077,000	H30予算額 3,891,000	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・北斗軒来客数（6月～3月） 6,072人、売上6,633,680円		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・「北斗軒」については、運営上の都合により5月に一時休業となったが、その後、地域運営食堂として、7月から土日祝日のみの営業を再開。 ・平成29年度の整備した物販スペース「茂辺地ベース」を活用し、合同会社青によるカフェ事業を開始。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・自走化による事業の実施。		

B 石別地区創生事業〔企画課〕		H29新規	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 交流人口の増加に向けて、はこだて未来大生との協働で、トラピスト修道院や葛登志灯台などの観光資源を紹介するアプリを開発し、その可能性を検討した。 観光地を周遊できる自転車貸出事業等の取組み、いつまでも健康で生き生きと過ごせるようなサロン活動など、石別地区創生会議における事業を支援。 		
事業費 (円)	H29決算額 2,102,400	H30予算額 700,000	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・レンタル自転車利用者数（7月～11月） 41人		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・平成29年度までは、原則として土日祝日のみの営業だったレンタル自転車事業について、平日の営業も開始。 ・レンタル自転車利用者数（4月～8月27日） 111人		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・自走化による事業の実施。		

施策②	子どもの力を引き出す教育環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援とともに子どもの持っている潜在的な能力を引き出し、さらに高める教育環境をつくる施策を展開。 	

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> 指標値の達成に向けた効果が認められ、児童・生徒数の減少が抑制されている。
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗状況
・児童・生徒数	3,773人	3,897人	+124人

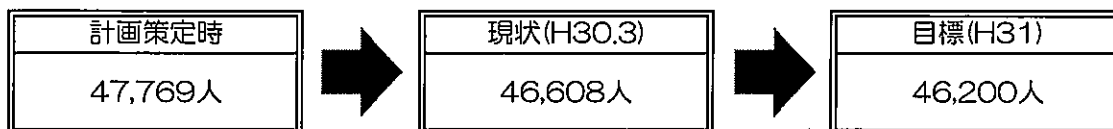
A 対外競技参加等補助事業 [学校教育課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学生の対外競技等の経費について、補助をすることにより保護者負担の軽減を図る。 子どもたちの能力を発揮する機会を保障することができ、スポーツや文化の教育環境を推進。 		
事業費 (円)	H29決算額 20,771,000	H30予算額 27,000,000	H31予算要求見込額 27,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 全道・全国大会に出場したことにより、他地域の児童生徒や文化の交流ができた。 小学校 全道大会10団体 児童209人 指導者26人 全国大会2団体 児童106人 指導者11人 中学校 全道大会23団体 生徒212人 指導者27人 全国大会5団体 生徒84人 指導者3人 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 全道・全国大会に出場することにより、子どもたちの能力を発揮する場や他地域の人たちとの交流を図る。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 事業の継続実施。 		

B 子ども対外競技等参加補助事業 [社会教育課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学生の社会教育活動として行われる対外競技等の全国または全道大会に参加する経費の一部を補助し、保護者負担の軽減を図る。 		
事業費 (円)	H29決算額 4,182,000	H30予算額 5,000,000	H31予算要求見込額 5,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> 全道・全国大会に参加したことにより、他の地域の参加者との親睦と交流、技術力向上を図ることができた。 小学生 全道大会 7団体 児童52人 指導者 7人 全国大会2団体 児童 2人 指導者 2人 中学生 全道大会 8団体 生徒61人 指導者 8人 全国大会6団体 生徒18人 指導者 6人 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 保護者の負担軽減が図られているほか、全国、全道大会に対する参加することで、競技レベルも上がっており、引き続き、経費の一部を補助。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> 事業の継続実施。 		

基本目標4	住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る ～ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する ～
-------	--

数値目標：年度末の住民基本台帳に登録された人口

※人口ビジョンでは、基本目標2、3で示した数値目標を達成し、平成31年度末人口を46,200人としている。



施策(1)	コミュニティ機能の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少の進行による地域力の低下を防ぐため、地域コミュニティ機能を維持・向上する施策を展開。 	

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ機能の維持に一定の効果は認められるが、指標値との乖離は縮まっていない。
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗状況
・町内会加入率	86.3%	H29 : 82.7%	△3.6%

① 町内会活動への支援など地域力の維持・向上

A 移住者も含めた市政スクールの実施 [市民課]	継続	既存事業	
<p>事業概要 ・市政スクールは、公共施設や民間の施設などを見学を通じ、市の産業や取り組みを学ぶことを目的に、これまでも年2回実施しているが、北斗市に住み続けたいと感じてもらうことも目的と捉え、移住者（転入者）を優先しての市政スクールを年2回開催。</p>			
事業費 (円)	H29決算額 3,000	H30予算額 12,000	H31予算要求見込額 12,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI 達成に向けた効果や課題等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目：8月9日 参加人数：15人（内2年以内転入者0人） ・2回目：10月25日 参加人数：20人（内2年以内転入者0人） 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目：7月2日 参加人数：37人（内2年以内転入者3人）テーマ「北斗市と箱館戦争」 ・2回目：10月実施予定 テーマ「北斗市の水産業」（予定） ・漫然と市内のスポットを巡るのではなく、テーマを持って実施。 ・市政スクールの内容や写真などの実施結果をホームページで公開し、参加促進を図る。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向		
	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目：6月～7月、2回目：9月～10月 実施予定 ・3年程度のサイクルにて、それぞれ別々のテーマを持ち実施。 		

B 町内会活動活性化交付金事業[市民課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 活動活性化交付金事業は、明るく住みよい地域社会の実現及び住民福祉の増進を図るため、町内会の維持及び自主的な活動を促進するを目的として実施。 均等割交付金3万円＋活動交付金1万円×6項目 ①地域住民の交流を深める事業、②健康づくり事業、③自主防災事業、④防犯・交通安全事業、⑤町内会広報誌の発行、⑥環境美化事業 ※ 複数項目を実施する町内会を増やすよう、町会連合会とも協力し実施。 		
事業費	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
(円)	6,840,000	7,740,000	7,740,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・6事業：45町内会、5事業：14町会、4事業：11町会、3事業：11町会、2事業：4町会、1事業：1町会		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・引き続き複数項目の実施を促す。 ・「②健康づくり事業」にて、ラジオ体操を多く取り組むよう、町会連合会に働きかけを実施。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・各町内会・自治会から、町内会活動の上で有用な事業であると声を頂いており、引き続き事業を継続すると共に、複数項目の実施を促す。		

C 地域協働対策補助金事業[市民課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 町内会が実施する地域協働事業に係る経費の一部を補助することにより町内会活動の活性化や住民自治意識の高揚を目的として、実施。 環境整備事業：1町内会当たり100万円上限 その他事業：1町内会当たり10万円上限 		
事業費	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
(円)	996,768	2,000,000	2,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・環境整備事業：なし、その他事業：996,768円(10町内会) ・その他事業の内訳：ジャンパー、物置、椅子、掲示板、液晶モニター、アンプ・マイク、カメラ、ノートパソコン等		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・環境整備事業：1,000千円、その他事業：1,000千円(10町内会想定) ・その他事業：H30.8現在 4町内会申請済(音響設備、座椅子、ノートパソコン・プリンター、液晶プロジェクター・スクリーン) ・町内会活動の活性化や住民自治意識の高揚を目的として、継続実施。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・環境整備事業：1,000千円、その他事業：1,000千円(10町内会想定) ・町内会活動の活性化や住民自治意識の高揚を目的として、継続実施。		

D 町内会館建築費補助事業[市民課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の健全なる発展と地域住民の福祉を増進し、併せて市行政の推進を図るため、町内会館の建築に要する経費の3分の2を補助。 補助要件は、新築又は10万円以上の増改築。補助対象経費上限額2,000万円。 		
事業費	H29決算額	H30予算額	H31予算要求見込額
(円)	2,830,647	1,549,000	未定
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・清川自治会館改修事業：933,333円、常盤町会館改修事業：187,602円、七重浜4丁目会館改修事業：235,872円、千代田会館改修事業：1,473,840円		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・細入会館改修事業：598千円、東開発会館改修事業：396千円、南大野会館改修事業：555千円 ・引き続き、地域コミュニティの活動拠点である町内会館の改修等に対し、補助を実施。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・引き続き、地域コミュニティの活動拠点である町内会館の改修等に対し、補助を実施。		

E 町内会館等運営費補助金事業[市民課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく住みよい地域社会の実現及び住民福祉の増進を図るため、地域コミュニティ活動拠点施設として有効活用することを目的に町内会等が設置する又は管理する町内会館等の管理運営にかかる経費の一部を補助。 ①電気料基本料金の全額、②上・下水道料基本料金の全額、③し尿汲取料の3分の2の額、④消防設備点検費用の3分の2の額 H29年度より、⑤土地借上料について一定の基準により補助する(5会館) 		
	事業費(円)	H29決算額 1,643,882	H30予算額 1,764,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・42町内会館：1,643,882円 ① 42町内会：630,766円 ② 40町内会：635,270円 ③ 3町内会：4,701円 ④ 1町内会：7,200円 ⑤ 5町内会：365,945円 ・H29年度より、土地借上料について補助を実施。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・42町内会館：1,764千円 ・引き続き、地域コミュニティの活動拠点である町内会館の管理運営経費に対し、補助を実施。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・42町内会館：1,764千円 ・引き続き、地域コミュニティの活動拠点である町内会館の管理運営経費に対し、補助を実施。 		

F 町内会加入促進に向けた取組[市民課]		H29新規	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内会に対し、自発的な取組活動を促し、町内会加入促進のため、町内会・自治会と連携し取り組む。 		
	事業費(円)	H29決算額 0	H30予算額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・町会連合会のH29の活動の一つとして、町内会加入促進を位置づけており、先進取組連合会である「室蘭市」へ視察研修を6月22日に実施。 ・効果的取組を行っている町内会を取材し、連合会だよりを通じ、全町内会に取組実態を周知。 ・新函館北斗駅前に建設された道営住宅について、入居者の町内会加入を促すため、受入町内会と協議を進め、9月15日に入居者説明会を開催。 結果4戸加入。その後未加入世帯へも文書配布は実施し加入促進活動は継続中。 ・町内会未加入地区について、近隣の町内会長と、10月24日協議を実施。 近隣町内会に編入させることについて賛同は得られず、独自に町内会を立ち上げる方向となった。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・町会連合会のH30の活動でも引き続き町内会加入促進を位置づけており、H30の研修は、先進取組連合会である「苫小牧市」へ視察研修を6月28日に実施。 ・各町内会ごとの事業内容を把握し、町会ごとチラシもしくはパンフレットを作成。 ・転入手続きの際加入を促す情報提供をする。 ・アパート等の集合住宅入居者の加入促進対策として、先進地である函館市へ宅建協会との協定の経緯等情報収集を行い、市、町会連合会、宅建協会での3者協定を締結予定。 ・町内会未加入地区について独自に町内会の立ち上げを進めるため、地域の有力者の人選を進める。 ・「町内会・自治会加入マニュアル」を作成し、各町内会長等へ配布予定。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ※継続的に施策を実施していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・町会連合会の活動の一つとして、町内会加入促進を位置づけており、先進取組連合会である市、まちへ視察研修を実施。 ・各町内会ごとの事業内容を把握し、町会ごとのチラシもしくはパンフレットを更新作成。 ・転入手続きの際加入を促す情報提供をする。 		

G コミュニティスクール推進事業補助金[学校教育課] (再掲)		H30新規	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会が学校・家庭・地域が一体となって、教育活動に対し、主体的・積極的に支援・協力することや学校運営や児童生徒の健全育成を推進。 ・地域力の低下を防ぐため、学校が核となり、地域コミュニティ機能を維持・向上する事業を展開。 		
事業費 (円)	H29決算額 200,000	H30予算額 270,000	H31 予算要求見込額 470,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI 達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域力を更に高めるため、学校の施設や学習活動などの機能を地域コミュニティを維持・向上することができた。 ・対象校 谷川小学校 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・谷川小学校をモデルとして、沖川小学校においても、地域コミュニティ事業の推進を図る。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に応じたコミュニティ事業の推進を図る。 		

② 暮らし機能の向上

A 空き家対策事業[環境課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度において空き家住宅等実態調査をし、それらを基に放置空家への対応など施策を推進するため、平成29年10月に「北斗市空家等対策計画」を策定。 ・従前より空家等の所有者に対しては適正管理のための連絡を行っていたが、倒壊のおそれがある危険な空家等(特定空家等)の解体を促進するため、平成29年度に「北斗市空家住宅等除却費補助金」制度を設けて、特定空家等の解消に努める。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 2,400,000	H31 予算要求見込額 2,400,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI 達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・特定空家等候補などの所有者に対して、適正管理などを促す文書を通じた。 ・平成28年度の空き家住宅等実態調査において、236戸あった特定空家等候補の現地調査をし、特定空家等判定基準に基づき判定作業を進め、147戸は特定空家等候補以外の空家等へ区分変更となり、平成29年度末における特定空家等候補は83戸、特定空家等と判定した6戸の所有者等に対して適正管理などの指導等を行った。 ・特定空家等候補の空家等の解体については、平成29年度中において18戸の解体が行われたが、除却費補助金の活用はなかった。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・特定空家等候補などの所有者等に適正管理のための助言・指導を行うとともに、除却費補助金制度の周知を図り、特定空家等の解消に努める。 ・特定空家等候補の空家等を特定空家等判定基準に基づき判定を進め、新たに15戸を特定空家等と判定し、所有者等に対して適正管理などの指導等を行っており、今後は、指導等により改善される見込みがない所有者等に対しては、固定資産税の課税標準の特例の対象から除外されることになる勧告を行い、特定空家等の解消に努める。 ・今年度は、現在まで4件の特定空家等候補の空家等が解体されている。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度同様に、特定空家等候補などの所有者等に適正管理のための助言・指導を行うとともに、除却費補助金制度の周知を図り、特定空家等の解消に努める。 ・引き続き、特定空家等候補を特定空家等判定基準に基づき判定を進め、所有者等に対して「助言・指導・勧告」を行い、特定空家等の解消に努める。 		

施策(2)	市町間連携による暮らしの機能の維持
・市町村連携による広域的な視点や民間団体・企業の参加促進も含めて、その機能をつくり守る施策を展開。	

【施策の評価】

・市町村間連携による暮らしの機能を今後も維持していくため、多様な取組が必要。
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗状況
・道南いさりび鉄道輸送密度	600人台	H29:531人	△69人
・定住自立圏協定に基づく連携項目	8項目	H29:8項目	維持

① 鉄道交通（道南いさりび鉄道）の維持

A 道南いさりび鉄道通学定期券購入費助成事業 [企画課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> いさりび鉄道開業により上昇した運賃について、負担増の緩和と利用促進を図ることを目的に、通学定期券利用者に対し補助するものであり、引き続き利用促進に向けての周知を図る。(H29、H30年度は補助対象費の2/3、H31、32年度は補助対象費の1/3を補助予定) 		
事業費 (円)	H29決算額 2,527,400	H30予算額 2,700,000	H31予算要求見込額 1,350,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・申請件数1,194件 申請利用者数(複数回申請除く)346人		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・引き続き、いさりび鉄道開業により上昇した運賃について、負担増の緩和と利用促進を図ることを目的に、通学定期券利用者に対し補助。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・いさりび鉄道開業により上昇した運賃について、負担増の緩和と利用促進を図ることを目的に、通学定期券利用者に対し補助するものであり、引き続き利用促進に向けての周知を図る。 ・補助率を対象経費の1/3に漸減する予定。		

B 道南いさりび鉄道地域応援隊への活動補助 [企画課] (再掲)		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 道南いさりび活動を活用した地域おこしのため活動する、沿線自治体の北斗市、函館市、木古内町から推薦を受けた隊員が連携して行う、利用促進に向けた活動に要する経費を補助。 		
事業費 (円)	H29決算額 100,000	H30予算額 100,000	H31予算要求見込額 100,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・お絵かき列車、駅の美化活動、観光列車のおもてなしなどの取組に対し支援。		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 ・駅の美化活動、観光列車のおもてなし、公共交通利用促進キャンペーンなどで協力し、利用促進を図る取り組みに対し支援。		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・引き続き、駅の美化活動、観光列車のおもてなし、公共交通利用促進キャンペーンなどで協力し、利用促進を図る取り組みに対し支援。		

② 広域連携

A 定住自立圏構想の推進 [企画課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・函館を中心市とした渡島・檜山管内市町による定住自立圏を形成し、生活機能の強化やネットワークの強化に資する取り組みにより連携を図るものであり、必要に応じ、新たな事業の盛り込みについて協議を行っていく。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 0	H31予算要求見込額 0
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリの運行支援などの連携により、必要な生活機能の確保が図られた。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・函館を中心市とした渡島・檜山管内市町による定住自立圏を形成し、生活機能の強化やネットワークの強化に資する取り組みにより連携を図るもの。 ・必要に応じ、平成31年度から始まる第2次ビジョンへ事業の盛り込みについて協議。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・函館を中心市とした渡島・檜山管内市町による定住自立圏を形成し、生活機能の強化やネットワークの強化に資する取り組みにより連携を図るもの。 ・必要に応じ、第2次ビジョンへ事業の盛り込みについて協議。 		

③ 都市交流

A 東京都北区や新幹線沿線でのイベント参加による都市間交流 [観光課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線を利用した誘客促進を図るため、JR大宮駅から最も近い東京都内の北区をターゲットエリアとし、同区内におけるイベントに出展し、市内観光資源のPR及び特産品販売等、観光プロモーション活動を展開。 		
事業費 (円)	H29決算額 483,330	H30予算額 417,000	H31予算要求見込額 417,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・4月29日～30日の2日間開催の赤羽馬鹿祭り（JR赤羽駅東口周辺）、5月21日開催の豊島カッパまつりに参加し、北斗市の魅力を発信。 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・4月28日～29日開催の東京都北区の赤羽馬鹿祭り、5月19日～20日開催の仙台市青葉まつりへの参加し、市内観光資源のPR及び特産品販売等、観光プロモーション活動を展開。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本管内の新幹線停車駅がある都市と連携を図り、観光プロモーション活動による誘客促進を図る。 		

施策③	都市インフラ・公共施設の延命化
<ul style="list-style-type: none"> ・道路や橋梁など都市インフラの延命化や公共施設の施設改修等を計画的に実施。 	

【施策の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設改修の実施により、維持管理費の平準化が図られている。

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設改修による維持管理費 	平準化		

A 公共施設の長寿命化対策事業の実施 [関係課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建築系公共施設は建物主要構造部の劣化を抑制する予防保全の改修事業や機械設備の更新等を実施。 ・道路・橋りょうは国の社会資本総合整備計画を踏まえ計画的に実施。 		
	事業費 (円)	H29決算額 800,514,194	H30予算額 792,779,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・住民施設 8,138,880円・・・石別住民センター外壁改修、中野通会館外柵改修ほか ・保健・福祉施設 40,495,680円・・・健康センター給湯設備等改修、児童家庭クラブ(2施設)外壁改修等 ・産業系施設 2,484,000円・・・上磯ダム地震計更新 ・公園施設 32,464,800円・・・中野通近隣公園防球ネット、運動公園野球場バックスクリーン改修ほか ・市営住宅 107,749,440円・・・久根別・中野通団地外壁改修、富川団地給排水設備改修ほか ・学校教育施設 190,011,960円・・・浜分小学校大規模改修、給食センター機械設備更新ほか ・社会教育施設 176,983,920円・・・文化センター冷暖房設備更新、総合体育館屋根・外壁改修ほか ・行政施設ほか 16,329,600円・・・本庁舎防火設備等改修ほか ・市道・橋りょう 225,855,914円・・・市道ストック整備、橋りょう改修、七重浜跨線人道橋改修 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・住民施設 8,668千円・・・浜分ふれあいセンター外柵改修、追分福祉センター床張替ほか ・保健・福祉施設 36,834千円・・・健康センター電気設備等更新、火葬場トイレ改修ほか ・産業系施設 0千円・・・(H29は、上磯ダム地震計更新の2,592千円) ・公園施設 27,410千円・・・浜分近隣公園多目的広場フェンス改修、運動広場テニスコートフェンス改修ほか ・市営住宅 33,882千円・・・久根別・中野通団地給排水管更新工事ほか ・学校教育施設 75,433千円・・・教員住宅屋根塗装、沖川小学校体育館換気設備設置事業ほか ・社会教育施設 219,959千円・・・公民館内装改修、公民館電気設備更新ほか ・行政施設ほか 113,583千円・・・本庁舎屋上改修、清川口駅舎屋根・外壁改修ほか ・市道・橋りょう 277,010千円・・・市道ストック整備、橋りょう改修ほか 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・再点検のうえ、技術的な視点だけでなく公会計制度による資産管理の面からも検討を加え、予算計上を行う。 		

施策(4)	茂辺地地区・石別地区の地域振興
<p>・両地区は市の中でも特に高齢化や人口減少の傾向が増しており対策が急がれるため、地域の基幹産業である漁業の振興とあわせて、地域に魅力の再発見とその特色を活かした地域の方々が誇れる地域づくりに関する施策を展開。</p>	

【施策の評価】

<p>・両地区の創生会議の取組みによって、魅力の発信や交流人口の拡大につながり、指標値の達成に効果があった。</p>
--

重要業績評価指標 (KPI)	指標値(H31)	直近の状況	進捗率
・茂辺地・石別地区の人口の社会動態	均衡化	H29：30人転入超過	+30人

① 里の再発見

A 茂辺地地区創生事業 [企画課]		H29新規	戦略事業
事業概要	<p>・地域の新しいランドマークである寝台列車北斗星を活用し、交流人口の増加につなげるため、茂辺地北斗星広場の整備やラーメンなどの食を提供する「北斗軒」の運営、いつまでも健康で生き生きと過ごせるようなサロン活動など、茂辺地地区創生会議における事業を支援し、助成を行う。</p>		
事業費 (円)	H29決算額 23,077,000	H30予算額 3,891,000	H31予算要求見込額 0
H29	<p>実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・北斗軒来客数(6月～3月) 6,072人</p>		
H30	<p>実施結果、実施状況、改善点等 ・「北斗軒」については、運営上の都合により5月に一時休業となったが、その後、地域運営食堂として、7月から土日祝日のみの営業で再開した。 ・平成29年度の整備した物販スペース「茂辺地ベース」を活用し、合同会社青によるカフェ事業を開始した。</p>		
H31	<p>予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・自走化による事業の実施。</p>		

B 石別地区創生事業 [企画課]		H29新規	既存事業
事業概要	<p>・交流人口の増加に向けて、はこだて未来大生との協働で、トラピスト修道院や葛登志灯台などの観光資源を紹介するアプリを開発し、その可能性を検討した。 ・観光地を周遊できる自転車貸出事業等の取組み、いつまでも健康で生き生きと過ごせるようなサロン活動など、石別地区創生会議における事業を支援し、助成を行う。</p>		
事業費 (円)	H29決算額 2,102,400	H30予算額 700,000	H31予算要求見込額 0
H29	<p>実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 ・レンタル自転車利用者数(7月～11月) 41人</p>		
H30	<p>実施結果、実施状況、改善点等 ・平成29年度までは、原則として土日祝日のみの営業だったレンタル自転車事業について、平日の営業も開始した。 ・レンタル自転車利用者数(4月～7月) 63人</p>		
H31	<p>予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 ・自走化による事業の実施。</p>		

C 新茂辺地団地建設事業 [都市住宅課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現茂辺地団地の老朽化による建替えであり、旧茂辺地中学校グラウンドに建設予定。 ・1棟12戸の3階建てとし、津波による周辺住民の避難場所としての活用も想定。 		
事業費 (円)	H29決算額 0	H30予算額 5,866,000	H31 予算要求見込額 21,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・8月2日に地元説明会を開催し、そこで出た意見等を参考に新茂辺地団地基本設計を発注予定。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・平成32年度からの工事着手に向けて、新茂辺地団地実施設計を行う。 		

② 地域振興を目的とした助成制度における優遇措置の設定

A 移住・定住促進対策支援事業 [企画課] (再掲)		継続	戦略事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に策定した北斗市移住プロモーション戦略を踏まえ、首都圏や札幌市に居住する地方移住志向者に対し、市の魅力をPRし、移住に結びつくよう、大都市圏からの移住者や茂辺地・石別地区への移住者に対し、世帯構成等に応じた加算措置を設け、引越費用等の助成を行う「三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金」の制度運用を開始。 ・北斗市空き家バンクの登録物件を居住目的で購入、又は賃貸する者に対し、世帯構成等に応じた加算措置を設け、購入費用等の助成を行う「空き家バンク利活用事業補助金」の制度運用を開始。 ・北斗市空き家バンクの利用促進と円滑運用を図るため、北斗市移住・定住推進協議会の活動費を助成。 		
事業費 (円)	H29決算額 9,068,000	H30予算額 14,000,000	H31 予算要求見込額 15,000,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金交付実績 16件、1,743,000円 ・空き家バンク利活用事業補助金交付実績 10件、7,300,000円 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅金融支援機構との相互協力に関する協定を締結し、三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金や空き家バンク利活用事業補助金の交付決定者のうち、子育て世帯や茂辺地・石別地区への移住など一定の要件を満たす場合は、住宅ローンの借入金利が優遇されるを利用できるようになった。 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・三大都市圏・札幌市ウェルカム移住支援事業補助金や空き家バンク利活用事業補助金の運用実績を踏まえ、より効果的な制度への見直しを行う。 		

B 教育活動推進教員配置 [学校教育課]		継続	既存事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある教育活動を推進するため、専門性のある補助教員を配置。 ・英語教育に重点を置く茂辺地小中学校に併置校の特色を活かすために補助教員を配置。 ・イングリッシュキャンプへの参加。 		
事業費 (円)	H29決算額 894,000	H30予算額 2,529,000	H31 予算要求見込額 2,529,000
H29	実施結果、数値目標及びKPI達成に向けた効果や課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・補助教員を配置したことにより、児童生徒の英会話能力が向上。 ・茂辺地中学校生徒の積極的な英語検定への挑戦。 ・配置校：茂辺地小中学校 		
H30	実施結果、実施状況、改善点等 <ul style="list-style-type: none"> ・英会話活動の充実を図る。 ・配置校：茂辺地小中学校 		
H31	予算計上に向けた考え方、見直し等の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続実施。 		